

## よこはま動物園ズーラシア コウノトリが死亡しました



死亡したコウノトリ

よこはま動物園で飼育していたコウノトリが死亡しましたので、お知らせします。

### ○コウノトリ

- |          |  |
|----------|--|
| (1) 性別   | メス   |
| (2) 出生日  | 平成20年6月22日(15歳)  |
| (3) 死亡日時 | 令和5年12月12日(火)午後16時00分頃死亡確認   |
| (4) 死因   | 心不全および肝不全の疑い   |
| (5) 経過   | 死亡した当日まで異常は見られませんでした。朝も普段と変わらない様子でしたが、夕餌を与えに行った際、扉の前で死亡しているのを確認しました。 |

### ●死亡したコウノトリのプロフィール

平成20年に東京都多摩動物公園で生まれ、令和5年9月20日にペアのオスと共によこはま動物園へ来園しました。来園後は、2羽そろって仲良く歩く姿を展示場でよく目にしました。最近では、園路から一番近い木の上が気に入っていて、夜はそこで休むことが多くなりました。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会



お問い合わせ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■コウノトリについて

和名	コウノトリ
英名	Oriental Stork
学名	<i>Ciconia boyciana</i>
分類	コウノトリ目 コウノトリ科
分布	アムール川流域、中国南東部
生態	ヨーロッパなどで繁殖する朱色の嘴をしたシュバシコウの亜種とされていましたが、大きさや性質などにかなりの違いがあり、別種として扱われることもあります。この亜種は、シベリア南東部と中国東北部で繁殖し、冬季には中国南東部に渡って越冬します。日本でも1959年頃までは繁殖していましたが、現在では冬鳥としてまれに1羽から数羽が渡来するにすぎません。1956年に国の特別天然記念物に指定されて、2005年には兵庫県立コウノトリの郷公園において、飼育下で繁殖した個体の野生復帰を目指す試験放鳥が開始されています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書I：絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧IB類 (EN) ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
当園飼育頭数	3羽 (オス2羽、メス1羽) ※今回死亡した個体含まず
国内飼育頭数	21施設 190羽 (オス93羽、メス91羽、不明6羽) ※令和5年7月31日現在

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料  
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）  
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上2,000円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1 ※1/2は開園
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅から「よこはま動物園」行きバスで約15分、JR横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約18分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約1時間
- ◆URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000